

# 第5章

## －家族を持つこと－

この章では、「三重県子ども条例に基づく調査」の結果をもとに、高校生の結婚観や子どもを持つことの意識、県民の子育てに関する意識などをみます。

高校生の約13%が結婚したいと考えておらず、約16%が子どもをほしいと考えていません。

一方で、赤ちゃんやふれあった経験や小さい子どもと遊んであげた経験が多い高校生ほど、いつかは「結婚したい」、「子どもがほしい」と答える割合が高いという結果が出ています。

結婚や子どもを持つことは個人の考え方や価値観を尊重することが大前提ですが、若者が結婚や子どもを持つことに関心を持てるようにするためには、赤ちゃんや小さい子どもとのふれあい体験を含めたライフプラン教育が重要と考えられます。

少子化の状況については多くの県民が危機感を感じています。

夫婦共働き世帯が増加する中で、若い世代ほど「父親も育児に積極的に参加すべき」と考える割合が高くなっていることから、仕事と子育て等の両立を希望する男女ともに働き続けることができる職場環境づくりが求められています。

また、多くの県民が祖父母による育児や家事の手助けが望ましいと考えており、親や配偶者の親との近居を理想の住まい方と考える県民も多いことから、祖父母世代の子育て支援が進むような環境づくりが重要と考えられます。

## 第5章 第1節 高校生の結婚観や子どもを持つことの意識

### (1) 高校生の結婚観

#### ●結婚したいと「思わない」または「あまり思わない」高校生が約13%。

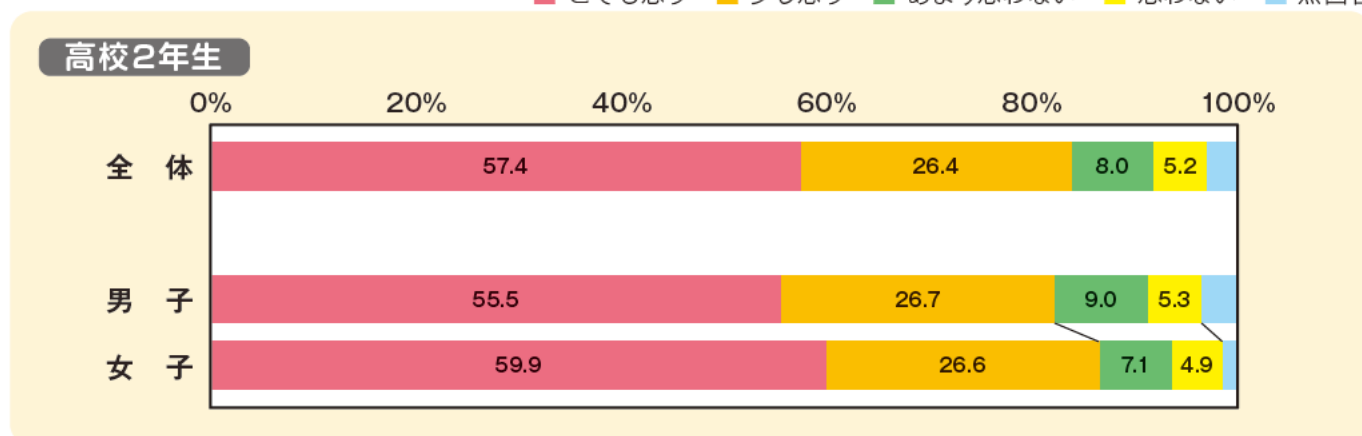
「いつかは結婚がしたいと思いますか」という質問に対して、「とても思う」「少し思う」と答えた高校生は83.8%で、「あまり思わない」「思わない」は13.2%となっています。また、男女別にみると、女子は「とても思う」「少し思う」が86.5%で、男子よりも高くなっています。

図5-1 高校生の結婚観

Q. あなたは、自分の将来について、次のように思いますか。

いつかは結婚がしたい。

■ とても思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



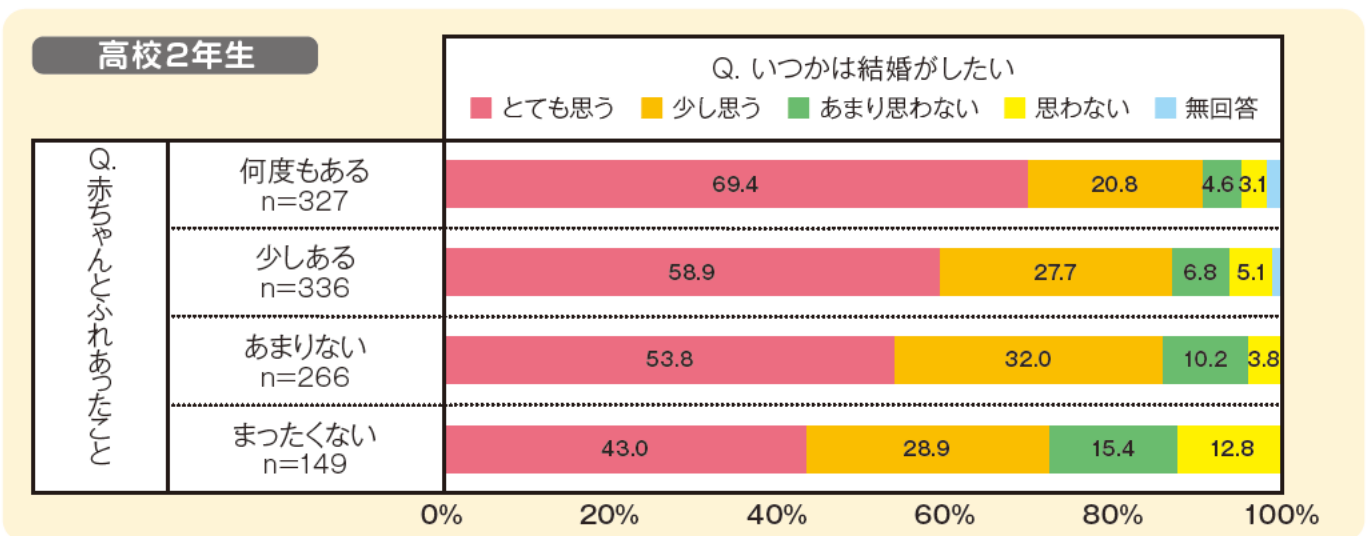
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●赤ちゃんとふれあった経験や小さい子どもと遊んであげた経験が多い高校生ほど、結婚したいと考える割合が高い。

高校生の赤ちゃんとふれあった経験と結婚観との関係を見ると、いつかは結婚がしたいと「とても思う」「少し思う」と答えた割合は、赤ちゃんとふれあったことが「何度もある」高校生では90.2%であるのに対し、「まったくない」高校生では71.9%と低くなっており、赤ちゃんとふれあった経験の多い高校生の方がいつかは結婚がしたいと考える割合が高くなっています。

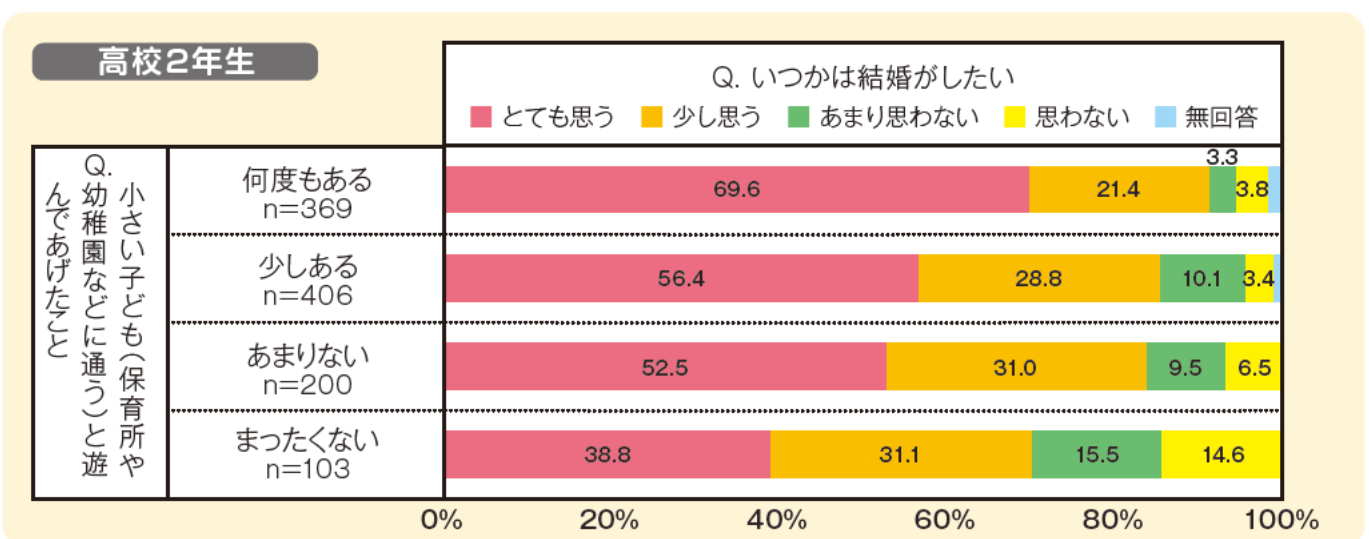
同様に、高校生の小さい子どもと遊んだ経験と結婚観の関係を見ると、いつかは結婚がしたいと「とても思う」「少し思う」と答えた割合は、小さい子どもと遊んであげたことが「何度もある」高校生では91.0%であるのに対し、「まったくない」高校生では69.9%と低くなっており、小さい子どもと遊んだ経験の多い高校生の方がいつかは結婚がしたいと考える割合が高くなっています。

図5-2 赤ちゃんとふれあった経験と結婚観との関係



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図5-3 小さい子どもと遊んだ経験と結婚観との関係



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

## (2) 高校生の子どもを持つことに対する意識

### ●子どもがほしいと「思わない」または「あまり思わない」高校生が約16%。

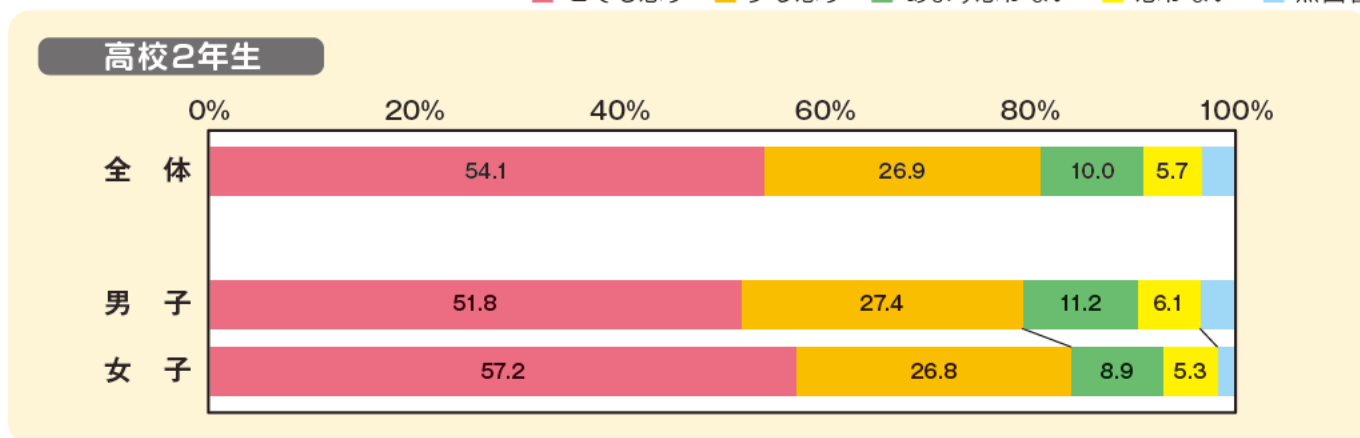
「いつかは子どもがほしいと思いますか」という質問に対して、「とても思う」「少し思う」と答えた高校生は81.0%で、「あまり思わない」「思わない」は15.7%となっています。また、男女別にみると、女子は「とても思う」「少し思う」が84.0%で、男子よりも高くなっています。

図5-4 高校生の子どもを持つことに対する意識

Q. あなたは、自分の将来について、次のように思いますか。

いつかは子どもがほしい。

■ とても思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



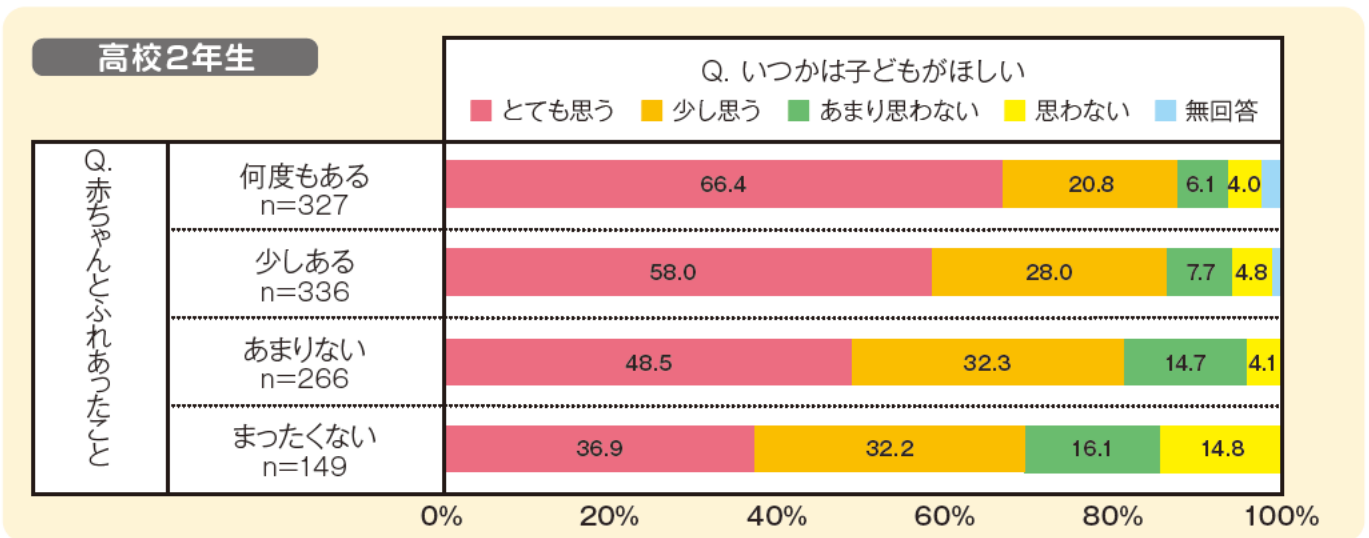
資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●赤ちゃんとふれあった経験や小さい子どもと遊んであげた経験が多い高校生ほど、子どもがほしいと考える割合が高い。

高校生の赤ちゃんとふれあった経験と子どもを持つこととの意識との関係を見ると、いつかは子どもがほしいと「とても思う」「少し思う」と答えた割合は、赤ちゃんとふれあったことが「何度もある」高校生では87.2%であるのに対し、「まったくない」高校生では69.1%と低くなっており、赤ちゃんとふれあった経験の多い高校生の方がいつかは子どもがほしいと考える割合が高くなっています。

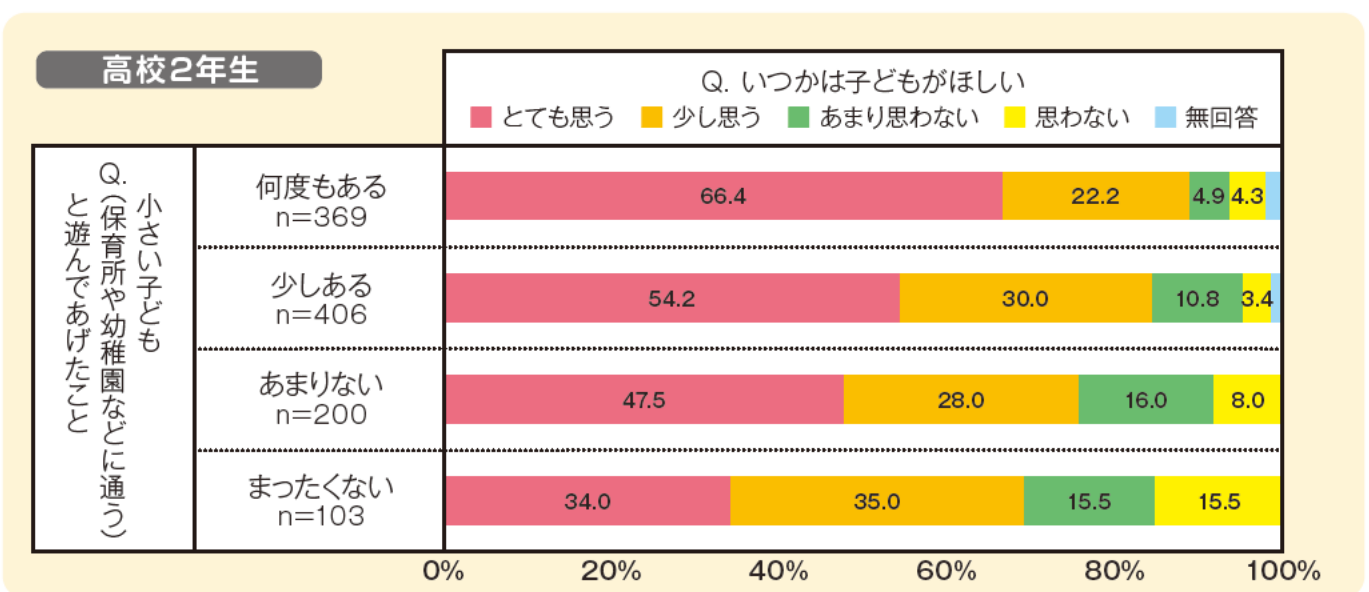
同様に、高校生の小さい子どもと遊んだことと子どもを持つこととの意識との関係を見ると、いつかは子どもがほしいと「とても思う」「少し思う」と答えた割合は、小さい子どもと遊んだことが「何度もある」高校生では88.6%であるのに対し、「まったくない」高校生では69.0%と低くなっており、小さい子どもと遊んであげた経験の多い高校生の方がいつかは子どもがほしいと考える割合が高くなっています。

図5-5 赤ちゃんとふれあった経験と子どもを持つこととの意識との関係



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図5-6 小さい子どもと遊んだ経験と子どもを持つこととの意識との関係



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

(1) 少子化に対する危機感

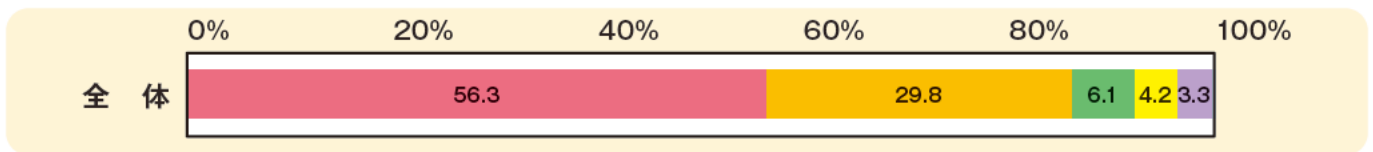
●約80%の県民が少子化の状況に危機感を感じている。

「少子化の状況に危機感を感じていますか」という質問に対して、「感じている」「どちらかといえば、感じている」と答えた県民は86.1%で、「どちらかといえば、感じていない」「感じていない」は10.3%となっています。

図5-7 少子化に対する危機感

Q. 子どもの数が減少していますが、こうした少子化の状況に危機感を感じていますか。

■ 感じている ■ どちらかといえば、感じている ■ どちらかといえば、感じていない  
 ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

## (2) 未婚化・晩婚化の理由

### ●未婚化・晩婚化の理由は、「自由な生活を失いたくない」「収入が少ない」「出会いがない」が上位。

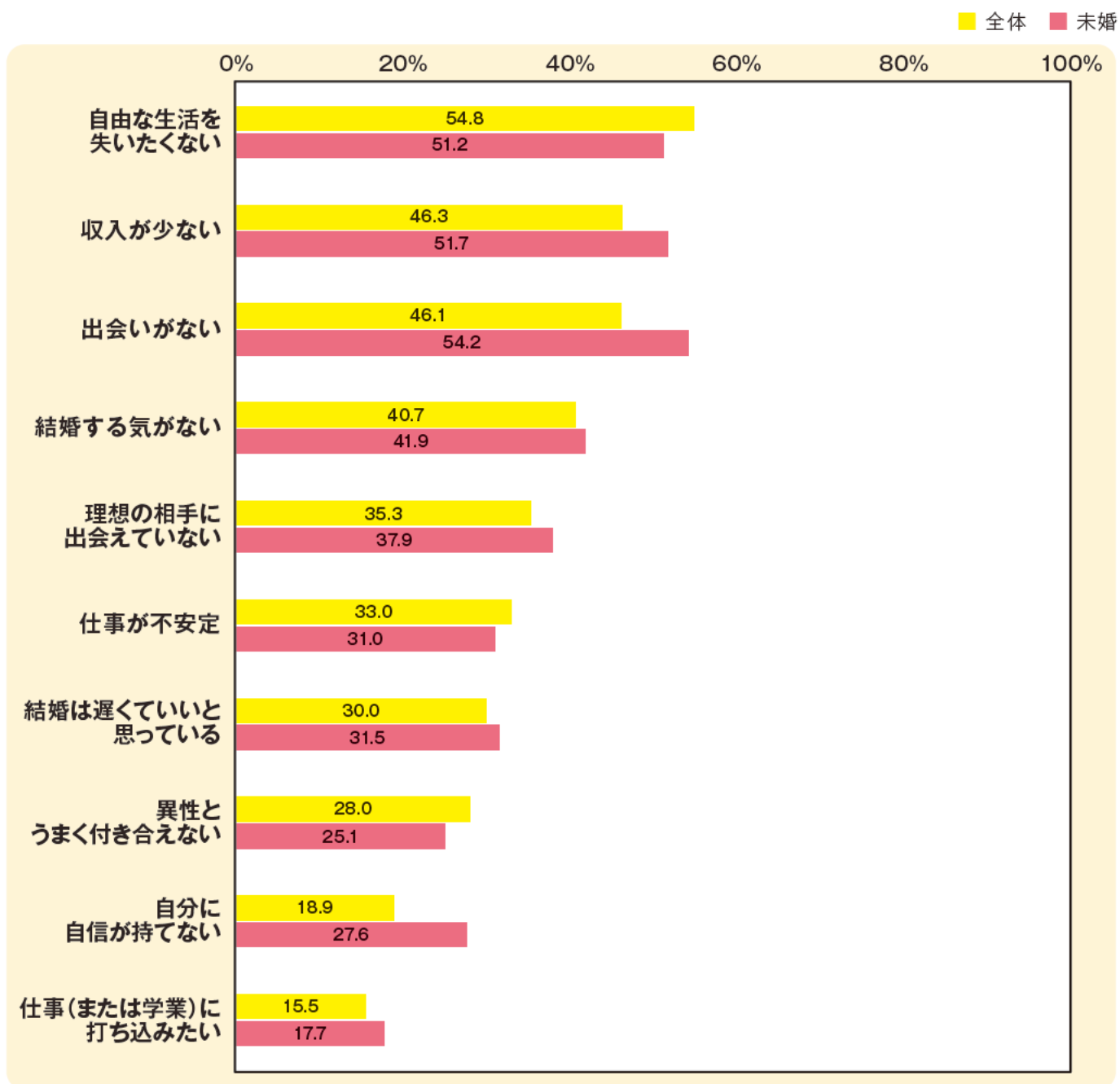
「未婚の人が結婚していない理由はどんなことだと思いますか」という質問に対して、全体では「自由な生活を失いたくない」が54.8%と最も高く、次いで「収入が少ない」、「出会いがない」の順となっています。

一方、未婚の人の回答では「出会いがない」が54.2%で最も高く、次いで「収入が少ない」、「自由な生活を失いたくない」の順となっています。

図5-8 未婚化・晩婚化の理由

Q. 日本では、「未婚」「晩婚」が増えてきています。

あなたは、未婚の人が結婚していない理由はどんなことだと思いますか。(複数回答・いくつでも)



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

注: 配偶関係の属性項目では、未婚のほか、既婚(配偶者有)、既婚(離別)、既婚(死別)がある。



### (3) 男性の育児参画の考え方

#### ●若い世代ほど「父親も育児に積極的に参加すべき」と考えている。

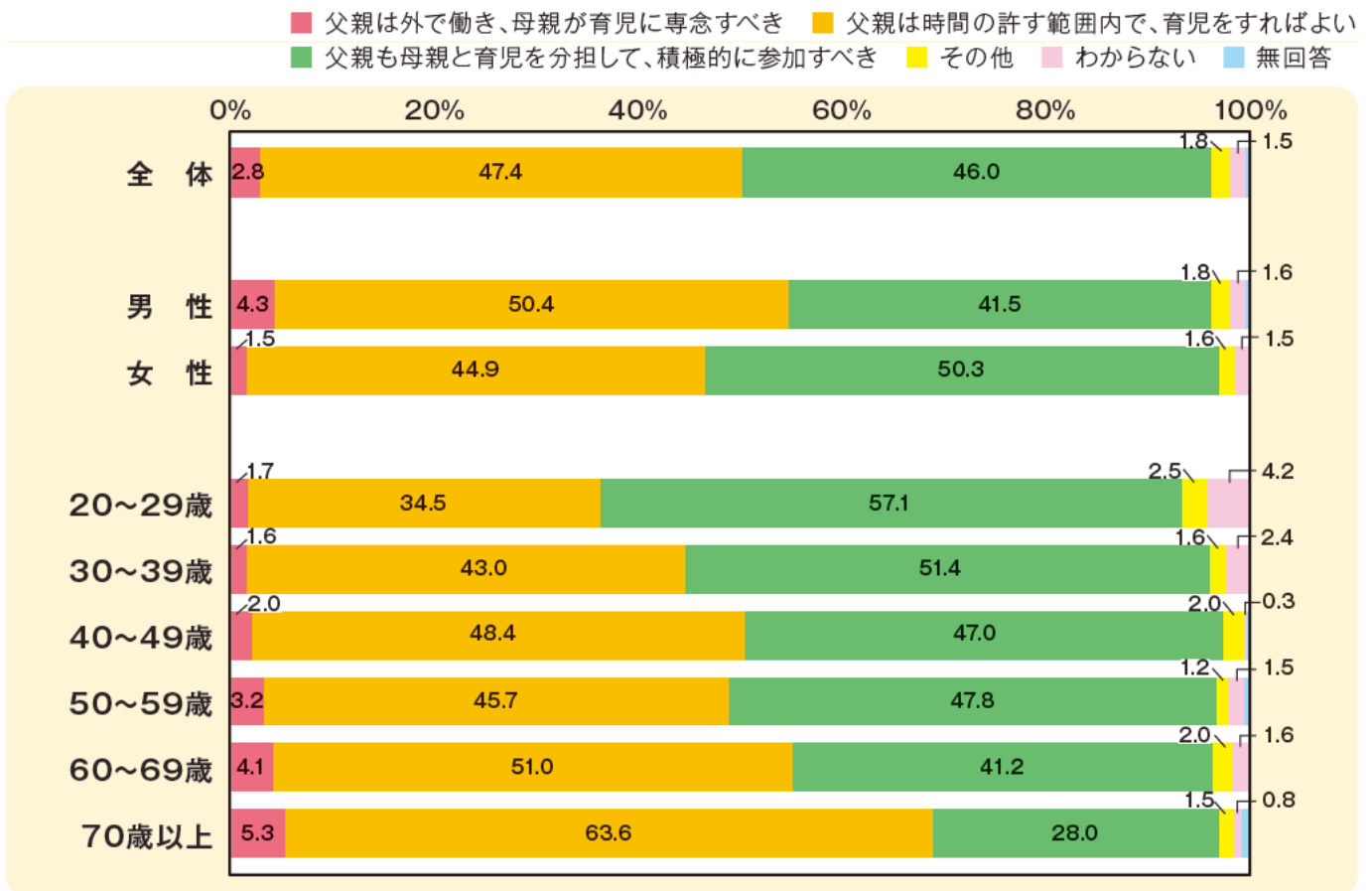
「父親が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか」という質問に対して、「父親も母親と育児を分担して積極的に参加すべき」と答えた県民の割合は46.0%となっています。

さらに年齢別でみると、「父親も母親と育児を分担して積極的に参加すべき」と答えた割合は、20~29歳で57.1%となっており、若い世代ほど父親が積極的に育児に参加すべきと考える傾向が見られます。

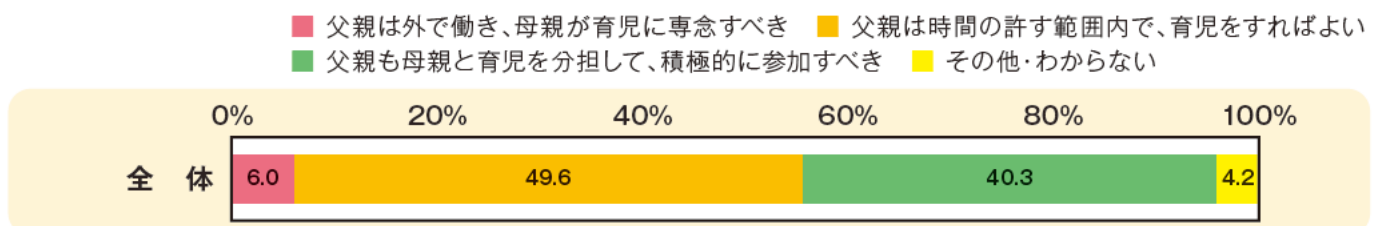
なお、同様の質問をした第3回みえ県民意識調査(平成26年1月)の結果より、「積極的に参加すべき」と答えた県民の割合が5.7ポイント高くなっています。

図5-9 男性の育児参画についての考え方

Q. 父親が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか。



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」



資料:第3回みえ県民意識調査(平成26年1月)



## (4) 祖父母による育児・家事の手助け

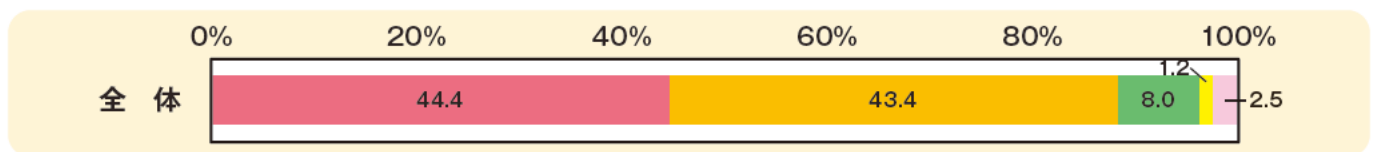
### ●約90%が祖父母による育児・家事の手助けが望ましいと感じている。

「子どもからみた祖父母が、育児や家事の手助けをすることは望ましいと思いますか」という質問に対して、「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた県民の割合は87.8%となっています。

図5-10 祖父母による育児・家事の手助け

Q. 子どもからみた祖父母が、育児や家事の手助けをすることは望ましいと思いますか。

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない  
■ まったくそう思わない ■ わからない



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

## (5) 理想とする家族の住まい方

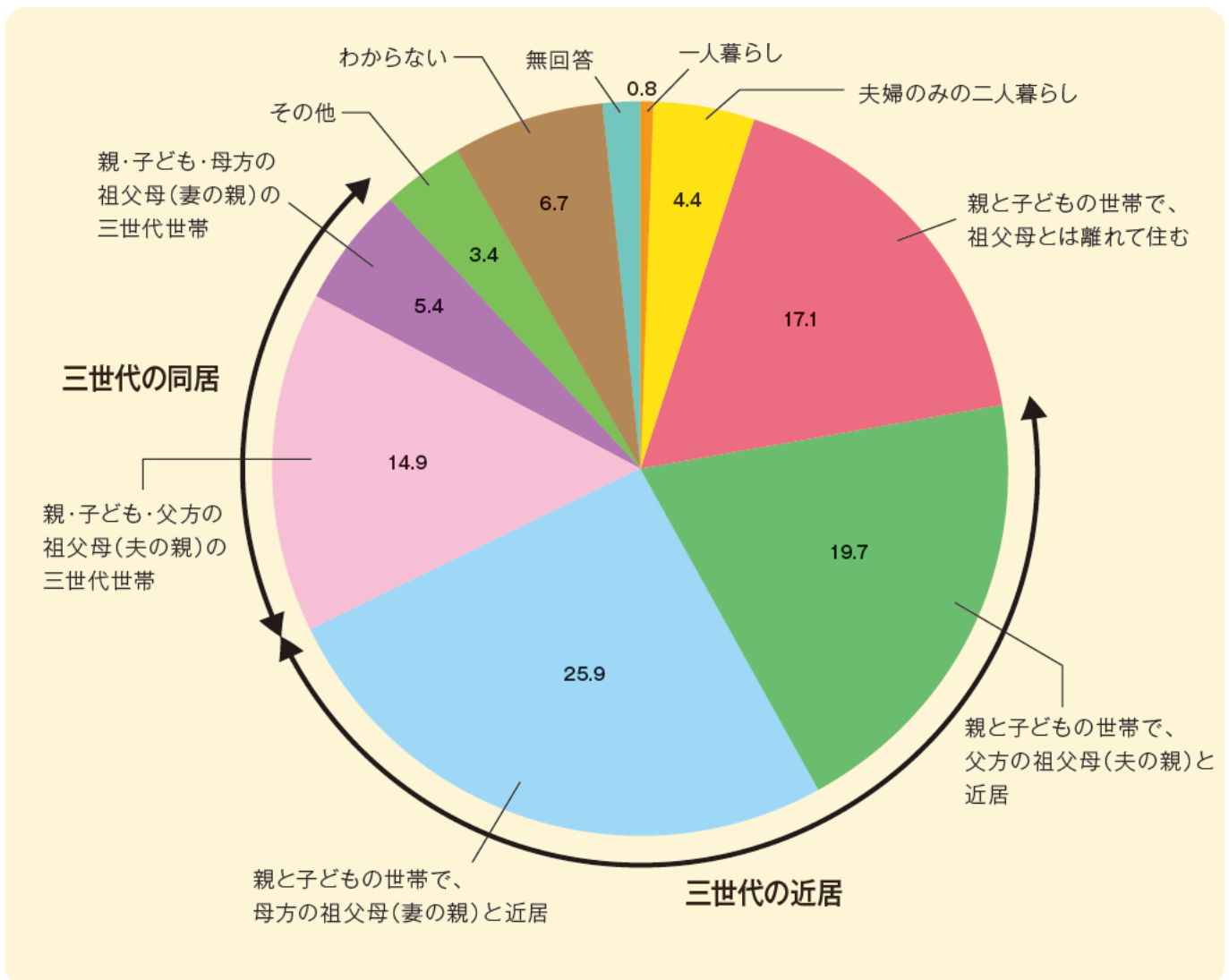
### ●「母方の祖父母との近居」が最も多く、3人に2人は三世代の同居や近居を希望。

「理想の家族の住まい方とはどのようなものですか」という質問に対して、「母方の祖父母と近居」を希望する割合が25.9%で最も高く、次いで「父方の祖父母と近居」が19.7%などとなっています。祖父母との同居を合わせた三世代の同居や近居を希望する割合は65.9%となっています。

図5-11 理想の住まい方

Q. あなたにとって、理想の家族の住まい方とは、どのようなものですか。

(%)



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」